■藤原良相 公卿。氏内の困窮者を扶養するなど、篤信の人だったが、〈応天門の変〉で兄良房に抑え込まれ、憤死。

ふじわらのよしみ

・・・・・・・・ 817=

藤原真作の女尚侍美都子を母に、北家藤原冬嗣の第五子に生まれる。同母の兄に摂政太政大臣良房、同母の姉に仁明天皇女御で文徳天皇の母藤原順子(五条后といわれる)がいる。

嵯峨上皇・・ 823= 6歳 :

・・・・・・・・ 826= 9歳 :

初め大学に学び、
度量宏大にして才幹ありと評され、

仁明天皇・・ 833=16歳 : 即位した仁明天皇に重用されて禁中に侍し、

・・・・・・・・ 834=17歳 : 蔵人、

空海没・・ 835=18歳 :

続いて右衛門大尉・右兵衛権大尉・内蔵頭・因幡守・左近衛少将などを歴任。

妻である相模権掾従六位下大枝乙枝の女との間に大納言正三位常行・文徳女御藤原多賀幾子・清和天皇女御藤原多美子ら9人の子をもうける。

承和の変・・ 842=25歳 : 承和の変に際し、左少将として兵を率い皇太子直曹を圍守。

・・・・・・・・ 843=26歳 : 正五位下阿波守、

・・・・・・・・ 844=27歳 : 蔵人頭、

良房右大臣・ 846=29歳 : 従四位下左近衛中将、

俘囚反乱始・ 848=31歳 : *参議となる。この頃、妻をなくし、以後は後妻を迎えることなく念仏を事とした。

・・・・・・・・ 849=32歳 : 相模守・陸奥出羽按察使・右大弁、

文徳天皇即位 850=33歳 : 春宮大夫・左大弁を兼ね、仁明崩御により仏事を円仁に依頼した。かつて仁明が薬五石を煎煉し、近侍の者に服薬させようとした時、良相のみが服し、君臣の義を忘れざる者と仁明は感じ入ったという。

・・・・・・・・ 851=34歳 : 権中納言、 従三位、

円珍入唐・・ 853=36歳 :

・・・・・・・・ 854=37歳 : 権大納言・右大将、

・・・・・・・・ 855=38歳 : 正三位。この年、仁明一代の歴史「続日本後紀」の編纂を良房らとともに命ぜられた。

・・・・・・・・ 856=39歳 : 文徳天皇とともに円仁から両部灌頂を受ける。円仁の弟子相応は良相の祈願僧であった。

国守追及始・ 857=40歳 : *右大臣となった。従二位左大将、

人民摂政の実 858=41歳 :

・・・・・・・・ 859=42歳 : 正二位。邸宅のなかに藤原一族の子女で自存不能の貧窮者を収養する崇親院と、これとは別に一族の病患者を収養する延命院を勸学院に付設し、その費用を負担して同族の結合をはかった。また文学の士を愛好し、大学中の貧寒の学生に援助を与えた。

鴻臚館設置・ 862=45歳 :

応天門の変・ 866=49歳 : *応天門の変に際して兄良房に抑え込まれ、仏道に入ることを願って上表したが、許されず、

・・・・・・・・ 867=50歳 : *「貞観格式」を編纂途中で没した。贈正一位。